

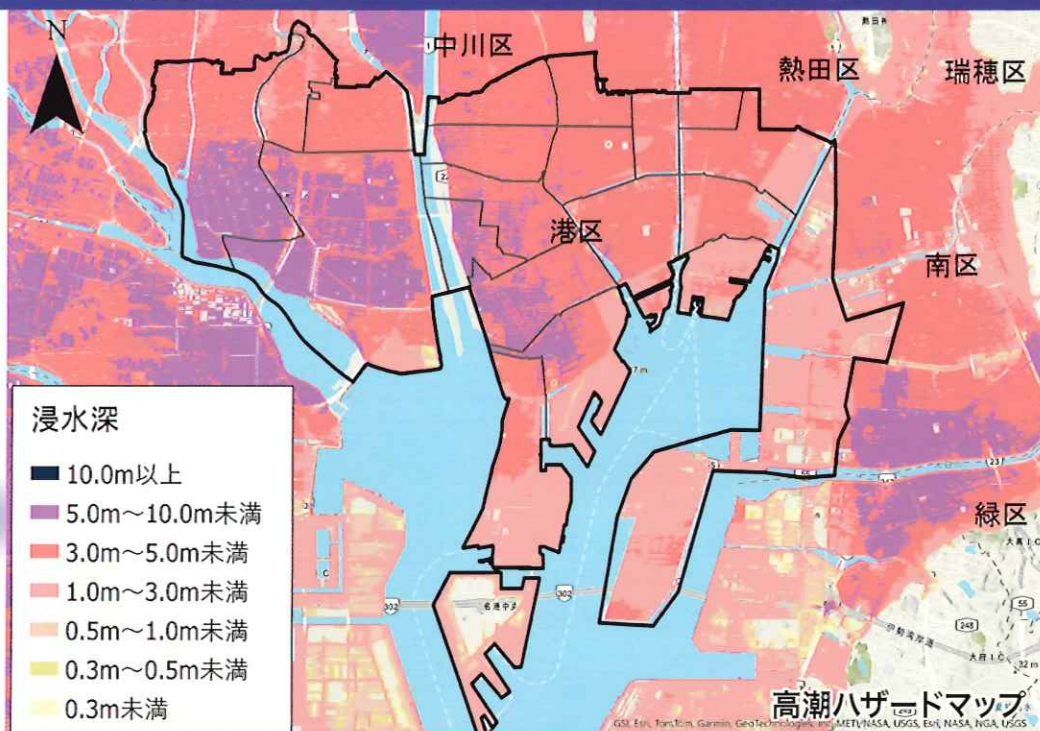
お住まいの地域は想定し得る最大規模の高潮や洪水が発生したら

大規模かつ長期的な浸水が 想定されています!



浸水深

■ 10.0m以上
■ 5.0m～10.0m未満
■ 3.0m～5.0m未満
■ 1.0m～3.0m未満
■ 0.5m～1.0m未満
■ 0.3m～0.5m未満
■ 0.3m未満



港区広報キャラクター
みなびい

**港区は、昭和34年の伊勢湾台風で大きな被害を受けました。
当時の記憶と教訓を活かして、現在の防災について考えることが重要です!**

伊勢湾台風の経験者談に基づく教訓

- 1か月以上浸水したことを知っておくことも大事。
- 天井まで水が来たので、必要なものは上階に置いておくといい。
- 避難場所は事前に決めておくといい。
- 事前準備が大切。水や食料などの準備を。
- 自分の命は自分で守る。
- 想定外も考えることも大事。
- 命をつなげるために、地域で支えあうことも大事。

**災害に備えて、普段から準備をしておきましょう!
避難や事前の備えについては裏面をチェック!**



南陽中・小学校 出典：名古屋市港防災センター



被災した家屋 出典：南陽地区住民提供

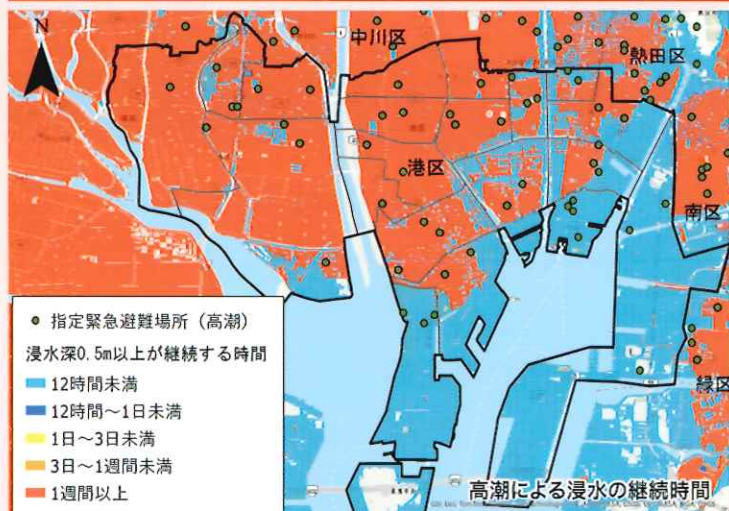
問合せ先

名古屋市防災危機管理局想定最大規模災害対策推進課
港区役所区政部総務課(防災担当)

TEL 052-972-4252
TEL 052-654-9611

災害時に命を守るため、事前の備えについて家族で話し合いましょう

●近くの指定緊急避難場所だけでなく、複数の避難場所を考えておきましょう！

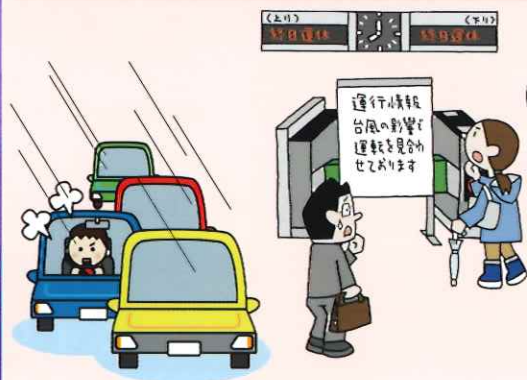


この地域は、
大規模な風水害が発生すると
浸水が1週間以上継続するかも
孤立すると大変だから、**広域避難を含めた
多様な避難行動を考えることが大切**
他の区に住んでいる親戚の家やホテルに
逃げるのもいいかも



←まずはハザードマップで
自宅や地域の危険度を確認し、
どこに逃げるか考えてみましょう！

●台風や大雨の時は早めに避難をしましょう！



雨や風が強くなると
避難するのが大変
道路も渋滞するかも



「風水害リスクシナリオ」
リーフレットを見て、
災害時にどんなことが
起こるか想像
してみよう！

動画もあるよ！
よりシナリオを
イメージできるよ！



オススメ！

●防災情報の入手手段を確認しましょう！



テレビやラジオの他、
名古屋市や気象庁の
ホームページやアプリ等、
情報を入手する方法を
確認しましょう。



防災情報の入手に関するリーフレット

大規模な台風が
接近しているときは、
3日前程度から注意が
呼びかけられるよ
気象情報に注意し早めに
避難しよう！



名古屋市防災アプリで 情報をチェック！



名古屋市防災アプリ
では、気象庁の情報や
市からの避難情報を
プッシュ通知で
お知らせします。
また、ハザードマップ
や避難場所等も
確認できます。

●非常持出品や備蓄品を準備しましょう！



非常持出品・備蓄品の
準備について

家族の状況に応じて水や食料など
必要な備蓄品を準備しましょう！

災害時は必要な物が
手に入らないかも
うちは小さな子どももいるから、
おむつやおやつも準備しよう



災害から命を守るためには、 地域での支えあいも大切です！

- 地域の訓練に
参加しましょう！
- 避難する時は隣近所で
声をかけあって、一緒に
避難しましょう！
- 企業や学校も一体となって
防災に取り組みましょう！



地域における防災の話し合いの様子